



☆食育だより☆



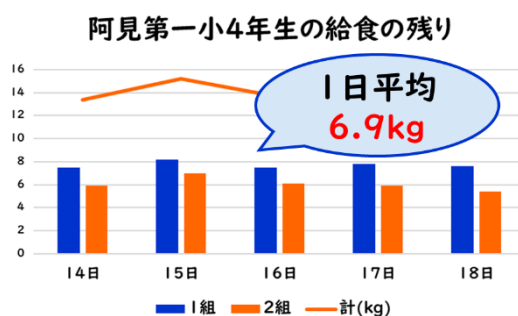
～みんなの力でろすのんを笑顔にしよう!～

阿見第一小学校

令和4年12月2日実施 阿見小学校 栄養教諭 宮澤 伽奈

先日、4年生の授業で「みんなの力でろすのんを笑顔にしよう!」というテーマで、食品ロスの現状や取り組みについて学習しました。今回の授業では、以下のような内容をお話したので、紹介させていただきます。

◎給食の食品ロスをのぞいてみよう



食品ロスは、身近なところに隠れています。



◎「ろすのん」というキャラクターを知っていますか？



◎ 食べものに、もったいないを、もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

ろすのんとは、**食品ロスをなくす(non)**という意味が込められたキャラクターです。真ん中の赤い丸は「お皿」を、下の二本線は「お箸」をイメージしています。お店などで見かけたことはありますか？

どうして食品ロスはよくないの？

●食べたくても食べられない人が沢山いるから

世界には、栄養不足の人が約8億人(=9人に1人)いると言われています。



●環境への負担が大きくなるから

食品の運搬だけでなく、廃棄処理にもガソリンを多く使うため、地球温暖化など環境の負担が増えます。

…など、食品ロスがよくない理由がたくさん挙がりました。

授業の最後では「みんなの力でろすのんを笑顔にしよう大作戦!」と題して、給食の準備時間と食べる時間との関係や、学年における残食量の差など、様々な視点から食品ロスを減らすための取り組みを考えることができました。ぜひこの機会をきっかけに、給食の時間だけでなく、**家庭においても食品ロスを減らすための取り組み**を考えてみてはいかがでしょうか？



授業を振り返って・・・

- ・休み時間にたくさん動いておなかをすかせたり、おかわりを食べられる量にしたいです。
- ・みんなが考えたアイデアを真似して、みんなでろすのんを笑顔にしたいです。
- ・ピーマンの肉詰めは、いつもお肉しか食べないけど、ピーマンをいっぱいタレにつけて食べるようにしたい!
- ・きらいなものが給食に出て、食わず嫌いで食べずに終わるのではなく、1回は頑張ってみようと思います。

食品ロス削減のためには、1人1人の意識が大切です。他人事ではなく自分事として捉えられるといいですね。

